

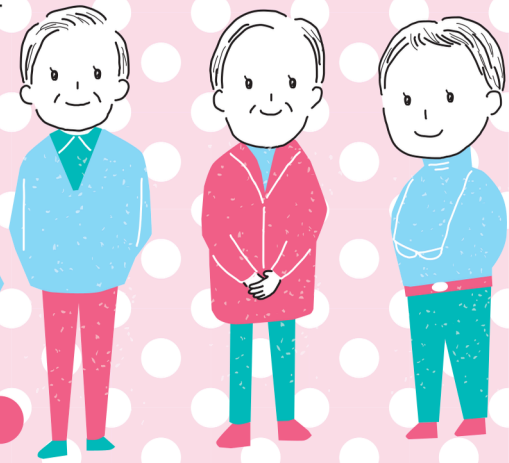
つながるスイッチ!! 久留米市社会福祉協議会

vol.33 支え合い推進会議—その(22)—

「高良内校区」の取り組み

子どもたちにかっこいい大人の姿を見せていきたい!

高良内校区は、子どもたち中心のまちづくりを行っています。



今回は「高良内校区」をご紹介します。

高良内校区まちづくり振興会

会長 丸山 睦夫さん

高良内校区社会福祉協議会

会長 近藤 嘉一郎さん

高良内校区まちづくり振興会

事務局長 梅野 忠光さん

「支え合うワークショップ」開催

高良内校区は令和4年度に支え合い推進会議を設置。「高良内校区は、元々様々な団体がしっかりと活動している元気な校区です。シニアクラブの会員数も市内で一番多いんです。校区外からも多くの人が参加するカラオケ大会も定期的に開催しているんですよ」と丸山さん。「校区内では、さつまいも収穫体験や田植え・稲刈り体験など、子どもたちとの活動も盛んです。子どもたちの登校時のあいさつ運動も長く行われていました」近藤さんは、昔から子どもたちとの交流が根付いている校区だと高良内校区の特徴を話されます。

各方面に声をかけ、50名以上が参加！10グループに分かれて校区の自慢できるところや今後取り組みたいことなど意見を出し合い活気あふれるワークショップになったそうです。PTAの協力もあり、4名の子どものたちも参加しました。「子どもたちからは、『もっと遊び場を作って欲しい!』や『高良川をきれいにしたい!』など、素直な意見が出てとても面白かったです。アイデアもたくさんいただきました」と丸山さん。ワークショップ終了後、校区では、出された多くのアイデアや意見の中から、実現する可能性が高い取り組みを掲げ、今も協議を続けています。

「ながら見守りの復活!」

梅野さんは「ながら見守り」とは、子どもたちの登下校時に、たまたま散歩していた、たまたま体操していたなど、偶然そこにいた人たちが負担なく子どもたちを見守りましょう、というものです。以前は、見守り用のベストを作り取組んでいましたが、活動者の高齢化等が理由で、徐々に衰退してしまいました。今回の復活提案は、一人ひとりが意識するだけで、校区全体に見守る意識が広がり、校区自体の動きも変わってくると思うんです」と話されます。

「逆に、子どもたちが高齢者を見守る動きのアイデアも出ています。例えば一人暮らしの高齢者には、毎日道から見えるところに幸せの黄色いハンカチを出してもらおう。子どもたちは登下校時にハンカチを確認し、高齢者が元氣かどうか見守る。これも負担のない

高良内校区の魅力

人口の減少や過疎化などの問題を抱える校区が多い中、高良内校区は、人口減少は見られずに横ばいの状態

見守り活動です」と近藤さん。「今、自治会に入らない人も増え、一人暮らしの高齢者の見守りも課題となっています。子どもたちとの関係が深い高良内校区だからできる、負担なく自然に校区全体が見守り合おうという、新しい見守りの形を目指したいです。子どもを支えるだけでなく、『支え合い』ですから」と梅野さん。ながら見守り活動はまもなくスタートするそうです。この目標を掲げ、3人は熱く笑顔で語られていました。



支え合うワークショップの様子

だそうです。「高良内校区出身の人は、大学や就職で一度出たとしても戻ってくる人が多いんです。また、校区内には自衛隊の官舎が多いのですが、自衛隊を退職した人もそのまま高良内に住むことが多いと聞きます。それだけ住みやすく魅力的な校区なんだと思います。私も生まれも育ちも高良内ですが、昔から住民同士のつながりが強いと感じていました」と梅野さん。

子どもたちと地域の関わりも強く、学校やPTAも地域活動に協力的な高良内校区。支え合い推進会議には、高良内小学校の校長先生も参画しています。「支え合い推進会議のメンバーに学校の関係者が入っているのも珍しく、これも高良内校区の特徴といえます。学校と地域が連携し、学校帰りにコミセンで宿題をする子どもたちを高齢者が『ほめほめ先生』としてみてあげています。子どもたちと高齢者の良い関係ができています」と丸山さんは話されます。

これがウレシイ

●丸山さん
高良内校区も高齢化が進んでいます。校区の行事やイベントに若い人たちの参加が少ないのが現状です。これからは自分たちではなく、若い世代に校区を育て

ていってほしいです。そのために子どもたちとその親の世代にもっとまちづくりに参加してもらおう促していきたいです。

●近藤さん
高良内校区の地域福祉活動計画がもうすぐ更新のタイミングとなります。高齢者や子どもたちに対する内容をもっと強化させたいです。現場をよく知る民生委員さんたちに集まってもらい、ワークショップのような形でみんなで見えを出し合いたいと思っています。多くの意見を汲み取って、より良い、住みやすい高良内校区を作りたいですね。

●梅野さん
先輩たちが頑張って培ってきた高良内校区のまちづくりのバトンを受け継いだ気持ちです。帰ってきたくなる高良内校区を目指しています。名付けて「サーモンキャンペーン」です(笑)高良内校区に住みたいと思ってもらうためには、私たち大人がかっこいい背中を子どもたち、若い世代に見せていく必要があると思います。今、子どもたちに積極的に校区の祭りや行事の準備を手伝ってもらっています。今年1月に開催された校区の左義長(どんど焼き)でも中学生に竹の切出しを手伝ってもらいました。こういった機会が子どもたちにとって良い思い出になるはずです。

校区で盛んな和太鼓とeスポーツをかけ合わせた大会の開催など、楽しいアイデアがたくさんあるので、校区のために今後実現していきたいです。

取材を終えて

常に子どもたちのことを中心に考えている高良内校区。校区を誇りに想い、校区のことが大好き。そして『校区のために活動する姿を子どもたちに見せることがこれからの校区の発展につながる』という思いの、丸山さん、近藤さん、梅野さん3人のパワーが溢れる取材でした。開催していきたいイベントのアイデアも満載！今後の高良内校区の活動も楽しみです。



丸山 睦夫さん 近藤 嘉一郎さん 梅野 忠光さん

ゴルフが趣味の丸山さんは、プロ級の腕前。家庭菜園で野菜作りも楽しんでいます。近藤さんはグランドゴルフ、カラオケなど多趣味で毎日大忙し。事務局長に就任して2年になる梅野さんは、自他ともに認めるアイデアマン。まちづくりに関わるのが楽しいそうで、様々なイベントを計画中です。

- 子どもたちが校区の中心
- 子どもたちも含め、「支え合うワークショップ」を開催。50人以上の参加者で盛り上がりました
- 負担なく自然に見守り活動をする「ながら見守り」を実施予定
- 子どもたちと地域の関わりが強さや、学校やPTAが協力的という強みをさらに活かしていきたい

久留米市社会福祉協議会

〒830-0027 久留米市長門石1-1-34
TEL: 0942-34-3035
FAX: 0942-34-3090

メール: heartful@heartful-volunteer.net
HP: <https://www.heartful-volunteer.net>

久留米市社会福祉協議会 検索

webサイト

[note一つくる、つながる、とどける。]で「つながるスイッチ!!」を検索してください!

#久留米市 #社協 #地域 #福祉 #地域福祉 #支え合い #子ども #サーモン



つながるスイッチ!!はHPでもwebマガジンでも掲載中